

戦争する国づくり
自公・維新の暴走を止める確かな力

大軍拡・大増税ストップ
日本共産党

学校給食費無償化

情熱とパワー、いつも一生懸命

かじわらさんは、新日鉄八幡に勤務する鉄鋼労働者の長男として1957年に北九州市で生まれる。中・高時代は剣道部(2段)、立命館大学文学部で近現代史を学ぶ。卒業後、1983年に中学校社会科教員として福知山に赴任。それ以降37年間勤務、30年間、剣道部の顧問をしました。

フルマラソンも完走してギターも弾ける先生

福知山マラソン18回完走のスポーツマン。子どもたちにギターの弾き語りを披露するなど、音楽家です。地域では学童保育設置の運動や平和を守るとりくみに参加しました。

昨年度は、親の介護もあり、郷里の福岡で非常勤の中学校教員として働いたかじわらさん。最後の授業のあと、子どもたちがお別れの言葉と花束を贈呈してくれ「先生のように生きたい」と語ってくれた時には涙があふれたと語っています。

由良川 災害防止

農業 振興

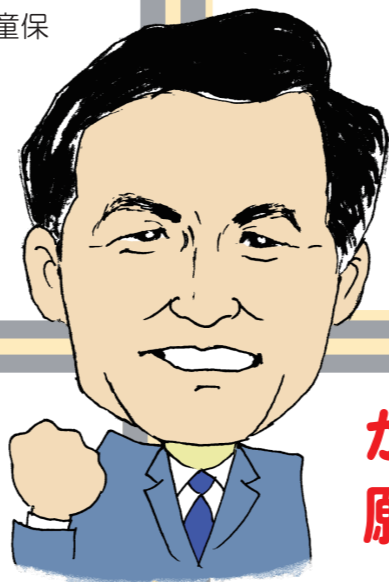
桃映中学校8年、日新中学校12年、南陵中学校9年など福知山で中学校教員37年

「先生がんばれ」と多くの激励

高校卒業まで医療費無料化、学校給食の無償化、教育費の父母負担の軽減のねがい実現に頑張ります。保護者や教え子のみなさんから熱い期待が高まっています。

中学の3年間、最初の授業ではギターを弾きながら「ケセラ」を熱唱。ユニークなスタートにびっくり！特に歴史の授業では覚えるだけでなく、社会のあり様を学ぶことだと教えてもらい、歴史の見方が大きく変わりました。ワクワクする授業でした。先生なら、福知山のこれまでの歴史やこれからのあり方をみんなと一緒に考え、前に進めてくれると思います。

日新中学校卒業 柴田雅章



平和の声を広げる先頭に

岸田内閣は、軍事費43兆円、敵基地攻撃能力の保有、大増税で戦争する国づくりをすすめています。報復攻撃に備えるため福知山や舞鶴自衛隊基地の「強靱化」を計画しています。市街地の中にある基地が攻撃対象となる恐れがあります。自民・公明がすすめる大軍拡に「核共有」などあおりたてるのが維新です。

「教え子を戦場に送るな」が信条のかじわらさんは、石原飛行場の保存運動をすすめ、「昔、石原に飛行場があった」の冊子をまとめ、福知山から平和の声を広げる先頭にたってきた人です。

日本共産党は、戦争する国づくりにストップをかけ、徹底した平和外交に力をつくすことを呼びかけています。

長距離ミサイルで「敵基地攻撃」。報復攻撃に備えるための福知山自衛隊駐屯地の「強靱化」計画は中止に

かじわらさんに、みなさんの願いを託してください。

塩見卯太郎

市議会で4期16年間、大水害の復旧や地域の要望実現など多くの仕事をさせていただきました。今回、こうした仕事を、かじわら秀明さんに引き継いでもらいます。教育・福祉の充実、地域振興などですぐに市政の場で活躍できる力をもつ方です。

かじわら秀明のお約束

●学校給食費の無償化、教育の保護者負担の軽減●高校卒業まで医療費無料化●国保料の引き下げ●水道基本料金の免除の再実施●内水対策の充実、減災・防災の強化●稲作支援や肥料高騰への応援●ジェンダー平等●原発ゼロ、米軍実弾射撃訓練の中止を



日本共産党市会議員
塩見卯太郎さんの後を継ぎます
かじわら秀明

日本共産党



日本共産党は、自公政治を持ち込む現市政を支える自民・公明などオール与党と対決、物価高からいのち・暮らしを守るため全力をあげています。日本共産党の5人の議員団は市民の願いを実現する大きな力です。

市民の 願い実現

現場の実態示し、実現までトコトン頑張る

日本共産党は、現地現場主義を貫き、市民の声を生かし実現に向け、トコトン頑張りぬく党です。

中学校卒業までの医療費

1回 500円 → 月 200円に
(入院) 高校卒業まで → 月 200円に

子どもの医療費 無料化が拡充

20数年前から要求、今度は通院も高校卒業まで無料へ

日本共産党は、議会で何度もとりあげ、当時の市長は「対象者の拡大ということは非常に困難」といい、拡充の請願に自民系・公明など市長与党が反対するのをこじ開け無料化拡充を前進させてきました。

小中学校へのエアコン設置、トイレ洋式化が前進

みなさんと一緒に 実現した主なもの

- 公手川排水ポンプ場の設置、高畑地内の堤防工事着工、排水ポンプ車の増車など災害対策の強化
- コロナ対策室の設置、検査・ワクチン接種体制の拡充
- コロナ禍で中小業者、住民税非課税世帯、社会福祉施設への支援施策
- 米づくり支援、肥料高騰への補助、水利施設や農道災害復旧への補助など多数

悪い政治に キッパリ

負担と周辺部切り捨て市政と対決

現市政は、旧3町の交流拠点施設の民間委託や休止、「全事業の棚卸」と称し、高校生通学費の補助の縮小、就学援助支給基準の引き下げなど福祉を切り捨て、地域の疲弊をすすめています。大江分院のベット削減には日本共産党以外のすべての議員が賛成しました。

日本共産党は、こうした市政とキッパリ対決、くらしと福祉の向上地域振興に全力をあげています。

オール与党の
大江分院の
ベットを削減

多くの 提案

5議席、第2会派の力で

三和町、大江町、夜久野町から各1人と旧市内部から2人の5人の日本共産党は各地域の課題を熟知、市議会第2党の力で市政を動かしてきました。

■ 財源も示し責任ある提案

未活用財源があることを明らかにし、物価高からくらしを守る施策を要望し、中小企業者等物価高騰対策給付金（中小企業15万円、個人8万円）が実施に。京都市など他自治体を上回る給付金額で大変喜ばれています。

■ コロナ対策で10次にわたる申し入れ

市民の声をまとめ、10次にわたりコロナ対策の充実を提案。水道基本料金の2ヶ月免除、中小業者、住民税非課税世帯、社会福祉施設への支援施策が実現しました。

市民に よりそう

自民系・公明など市長与党は市民からだされた請願のほとんどに反対しています。

ほとんどの請願に賛成 共産党

最近の請願から（一部）○賛成 × 反対	共産党	自民系・公明 など市長与党
学校給食費の保護者負担一部無償化・一部補助	○	×
医療・介護・保育・福祉など職場で働くすべての労働者の大幅賃上げ	○	×
就学援助制度の拡充	○	×
スケートボードの専用施設の設置	○	×

■ パーム油発電が撤退

みなさんと共に環境を守るため全力、脱炭素・原発ゼロにがんばっています。